

招集年月日	平成30年4月23日(月)	午後1時30開会
会 場	小美玉市本庁舎 3階 議会委員会室	
出席委員	岩本好夫委員長・幡谷好文副委員長・市村文男議長・野村武勝・戸田見成・大和田智弘・谷仲和雄・木村喜一	
欠席委員	荒川一秀・小川賢治・福島ヤヨヒ	
説明員職氏名	島田市長・岡野市長公室長・立原企画財政部長・山口産業経済部長・中村福祉部長・小松都市建設部長・佐々木企画調整課長・中村政策調整課長・笹目子ども福祉課長・矢口農政課長・長谷川商工観光課長・真家都市整備課長・酒井子ども福祉課長補佐・高野商工観光課長補佐・箕輪秘書広聴課長補佐・菅澤秘書広聴課長補佐・阿久津企画調整課長補佐・磯部地方創生推進係長・中本シティプロモーション係長・高田政策推進係長・近藤政策調整課主幹	
職務出席者の職指名	書記 富田 成	
付託事件	①ダイヤモンドシティ・プロジェクト平成29年度事業報告について ②政策提言について ③その他	
	<b>開会宣言 平成30年4月23日 午後1時30分</b>	
幡谷副委員長	皆さんこんにちは。地方創生まちづくり特別委員会を開会いたします。まず、岩本委員長よりご挨拶をいただきます。	
岩本委員長	<p>改めまして皆さんこんにちは。お疲れ様でございます。</p> <p>本来であれば3月の定例会中に地方創生まちづくり特別委員会をやりたかったのですが、年度末ということもあり、あと、人事のほうの変更もあるということで、今日の日程で設定させていただきました。委員の皆様におかれしては、お忙しい中出席いただきまして誠にありがとうございます。市長を含め執行部の皆様誠にありがとうございます。まずもって市長ご当選おめでとうございます。改めて心からお喜び申し上げます。</p> <p>わたしたちのこの地方創生まちづくり特別委員会、これは特別委員会なので委員会としての議案審査であったりとか、表決権はありませんが、わたしたちの委員会は所管の垣根を外れて、外していろいろな協議と提案も出来ます。そういった意味では非常に地方創生まちづくりにやりがいもあり、大事な委員会だと思っております。島田市政も新たに4年始まりますので、しっかりと地方創生まちづくりもいろいろな協議をして素晴らしい施策を提案していきたいと思っております。委員の皆様におかれましては、ご協力のほうよろしく願いいたします。以上です。</p>	
幡谷副委員長	続きまして、市村議長よりご挨拶いただきます。	
市村議長	皆さんこんにちは。今日は新年度に入って地方創生まちづくり特別委員会ということで委員長からありましたように、3月の定例会に出来なかったということで本日になったわけですが、今日はそれぞれご報告をいただいたり、慎重なる審査をいただいたりということでよろしく願いしたいと思います。本日は大変ご苦勞様です。	
幡谷副委員長	続きまして、執行部より島田市長にご挨拶いただきたいと思っております。	

島田市長	<p>改めてこんにちは。まず、委員長のほうからお祝いの言葉をいただきました。誠にありがとうございます。</p> <p>先の市長選挙で当選ということで、大変有り難い結果を出すことが出来たということで、これからも皆さんとともにしっかりまちづくりを推進するというスタートが切られたわけでありますので、よろしくをお願いします。</p> <p>また、心から皆さんのご協力に感謝申し上げる次第でございます。今日は地方創生まちづくり特別委員会ということで、大変お忙しい中ご参集されまして、ここに開会され誠にご苦労様でございます。また、日ごろ市政のほうにも議員の皆様方には多大なるご支援ご協力をいただいているわけでありまして、誠にありがとうございます。これからも先ほど申したように、一緒になってまちづくりを推進しなければいけない大事な時期でもありますので、変わらぬご審議のほどよろしくをお願いしたいと思います。地方創生ということで人口減少に歯止めをとということで、移住・定住促進を始めとしていろいろな事業、行事に取り組んでいる最中でありまして、そういうことが結果として「小美玉っていいね・住んでみたい・住んでよかった」まちづくりが推進されればこんないことはないわけでありますので、よろしくをお願いしたいと思います。それぞれの提言に基づいて、我々もしっかり皆さんのご指導をいただきながら進めていこうということでございますので、よろしくをお願いしたいと思います。本日は誠にご苦労様です。</p>
幡谷副委員長	<p>ありがとうございました。ここで協議に入る前に執行部の皆さんの人事の異動のほうもございませう。こちら議員のほう3名ほど欠席をしている状況でございますが、自己紹介のほうをしていきたいと思っております。</p> <p>それでは、執行部の皆さんのほうから自己紹介お願いいたします。</p>
各執行部	<p>皆さん改めましてこんにちは。本年4月の定期人事異動によりまして、市民生活部から市長公室併せて市長公室長のほうをおおせつかりました岡野英孝です。どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>皆様こんにちは。4月の人事異動によりまして、福祉部長を兼ねて福祉事務所長をおおせつかりました中村哲也と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>皆様こんにちは。4月の人事異動により、企画財政部長兼財政課長をおおせつかりました立原伸樹です。よろしくをお願いします。</p> <p>皆様こんにちは。引き続き産業経済部長をおおせつかりました山口守です。よろしくをお願いします。</p> <p>皆様こんにちは。4月の人事異動に伴いまして、会計課のほうから商工観光課課長に異動になりました長谷川正幸と申します。よろしくをお願いします。</p> <p>4月の人事異動により、企画調整課長をおおせつかりました佐々木浩です。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>引き続き、都市建設部長小松修也でございます。どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>4月の人事異動に伴いまして、教育委員会施設整備課から市長公室秘書政策課長をおおせつかりました中村均と申します。以後よろしくをお願いいたします。</p> <p>4月の人事異動により、商工観光課より子ども福祉課長をおおせつかりました笹目浩之です。よろしくをお願いします。</p> <p>農政課長の矢口正信です。引き続きよろしくをお願いします。</p>

	<p>こんにちは。子ども福祉課より4月の人事異動に伴いまして、企画調整課長補佐になりました阿久津清隆と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>みなさんこんにちは。都市建設部都市整備課長の真家厚と申します。引き続きよろしくお願ひいたします。</p> <p>秘書政策課課長補佐箕輪淳子と申します。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>子ども福祉課課長補佐酒井美智子と申します。引き続きよろしくお願ひいたします。</p> <p>商工観光課課長補佐になりました高野雄司と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>企画調整課係長磯部朋広と申します。引き続きよろしくお願ひいたします。</p> <p>政策調整課から企画調整課シティプロモーション係長を拝命しました中本正樹と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>農政課から秘書政策課政策推進係長を拝命しました高田勝利です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>秘書政策課広報公聴係係長をおおせつかりました菅澤富美江と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>秘書政策課政策推進係主幹近藤剛と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>幡谷副委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、協議のほうに移りたいと思います。協議の進行は岩本委員長お願ひいたします。</p>
<p>岩本委員長</p>	<p>それでは、協議事項に入ります。</p> <p>1, ダイヤモンドシティ・プロジェクト平成29年度事業報告について順次お願ひいたします。</p>
<p>酒井子ども福祉課長補佐</p>	<p>それでは、次第(1)平成29年度の実績につきまして、ご報告をさせていただきます。資料のほう表紙の平成29年度ダイヤモンドシティ・プロジェクト関連事業一覧表に沿いまして、説明をさせていただきます。</p> <p>わたくしのほうからは一覧表 No. 1 から No. 7 まで説明をさせていただければと思います。大変恐縮ではございますが、着座での説明をお許しいただければと思います。</p> <p>まず、恋愛結婚イメージアップ事業でございます。資料は1ページです。</p> <p>事業内容は、恋愛結婚のイメージアップを図るというもので、実施内容としましては、平成29年度は小美玉市で暮らす4組の夫婦をモデルに恋愛結婚イメージアッププロモーションムービーを作成いたしました。いきいきと仕事に取り組む姿や日常生活などを描いたムービーで、「小美玉日和」という名前で今ホームページのほうからリンクが貼ってありまして観ることが可能になっております。また、オリジナル婚姻届につきましても印刷をいたしております。小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づきまして、恋愛結婚イメージアップを図り、結婚を記念とするしかけづくりとしてロゴデザイン・小美玉市の農畜産物等をあしらったオリジナルの婚姻届を作成いたしまして、一昨年より市民課窓口等で配布しております。その成果でございますが、プロモーションムービーのほうですが、平成28年度に引き続き29年度も作成いたしました。納期のほうが平成30年3月ということですので、皆さんにこのあと見ていただくこととなりますので、ご確認をいただければと思います。平成28年度に作成</p>

いたしましたムービーですが、公開から約1年間で7,750回の視聴がございました。これからはこうしたムービーを、中高生を含め様々な世代に観ていただける環境の工夫が必要であると考えております。また、オリジナル婚姻届のほか結婚記念証を平成28年度に作っておりますが、婚姻届につきましても配布数は伸びているものの、届出数のうち利用を希望する方の割合は伸びていないところですが、記念証の利用なども少ないことから今後対応策のほうですが、プロモーションビデオについては多くの人の目に触れる機会を増やすこと、また、オリジナル婚姻届や記念パネルなどにつきましては、紹介と合わせて市ホームページなどで掲載するなど周知を図りながら利活用を図っていきたくて考えているところです。

2ページになります。多彩な合コン・街コン事業でございます。

事業内容としましては、様々な形での出会いの場の創出等、多彩な合コン・街コンを開催するものです。現在、結婚推進事業実行委員会を組織し、事業内容の企画運営にあたっていただいております。実施状況及び成果でございますが、資料中の黒く塗りしましたひし形が5つございます。これが事業なんです、そのうち2つめ空コンと書いてあるものですが、こちらは空港対策課のほうで実施したものを子ども福祉課のほうで協力したものです。4つの事業を子ども福祉課のほうで計画いたしました、1つ目、ビアフェスDE街コンは、台風接近に伴いまして中止とさせていただきます。その次、ワインばあ〜と、MIT〜ミッションin玉里〜につきましても、参加者等のキャンセル等がございましたので、こちら中止となってしまいました。最後、恋ばなシアター〜妖精と遊ぶ×劇場で恋をする〜につきましても、アピオスのほうで実施いたしました、男性18名、女性16名、合計34名で劇場アトラクションを通した出会いの場を創造いたしました。これら事業を実施するにあたりまして、小美玉市結婚推進事業実行委員会の皆様には、その下①から⑥まで会議等を開催しているいろいろな形で検討いただいております。課題及び反省点でございますが、先ほど中止の理由ということでキャンセルがあったということをお話させていただきましたが、特に女性の方の参加者の確保が課題になっております。こうしたことから更に話題性を高めていけるように、周知方法や参加しやすい企画の検討を充実させていきたくて考えております。そのためにも結婚推進事業実行委員会など参加者サイドの意見を参考にできるように、会議などを充実させていきたくて考えております。また、実施状況及び成果の一番下に参考ということで記載しておりますが、婚活事業に取り組む民間団体も多くみられています。商工会青年部のほうでも自主事業を実施しておりますので、こうした民間の活力を利用しての実施なども今後検討していきたくて考えているところです。すみません失礼しました。自己評価ですが、恋愛結婚イメージアップ事業につきましては、概ね達成したということで、Bをつけさせていただきます。今の多彩な合コン・街コン事業でございますが、自己評価につきましては、中止が多かったことからC評価とさせていただきます。

資料3ページになります。婚活事前講座事業でございます。

こちらはコミュニケーション講座やファッション・マナー講座等の婚活に必要なスキルを習得する講座を民間の方と協力して実施するというものです。こちらにつきましては、クッキング講座ということで、男性18名、女性16名の方に参加いただきまして、ホワイトデー限定でクッキング体験講座を開催いたしました。課題といたしましては、婚活事業自体を効果的に実施出来るように、事前講座の内容の充実を図ることが重要であるかと考えております。こちらを充実させることによりまして、婚活事業への参加を促すなど、事前講座と婚活

事業の2つの事業の連携を図れるよう検討してまいりたいと考えております。そのためにも対応策としましては、実行委員会や、そのほか参加者等の意見を反映させるということに力を注ぎたいと考えております。こちらにつきましても自己評価のほうはCということで記載させていただいております。

続きまして、4ページになります。出産祝い事業でございます。

こちらにつきましては、子育て世代の経済的負担を軽減するため出産祝い事業を実施するというものです。対象といたしましては、平成29年4月1日生まれからということで、小美玉市に最初の住民登録をした新生児を対象としております。条件としましては、父または母が対象児の出生日に小美玉市に住民登録をしていること。また、同一の世帯に登録されていること。支給決定までの間に継続して小美玉市に住所があること。同一世帯に市税等の滞納がないことを条件にして支給しております。金額につきましては、多子世帯に対して手厚い支援となるよう段階的に祝い金を増額するというもので、第1子、第2子が2万円、第3子、第4子が3万円、第5子以降が5万円ということで段階的に増額しております。申請状況でございますが、3月31日受付分までということで記載をさせていただいております。申請者数数は293名、そのうち支給が決定した方につきましては276名ということで、597万円を支給しています。この内訳につきましては記載してありますのでご覧いただければと思います。不支給につきましては、滞納等がございました方に関して不支給ということで決定しております。審査中というのは滞納がまだ納付されていないのですが、支給受付期間を経過していなかった方がいらっしゃったため、その方は納付を待つということで審査中1件となっております。課題及び反省点ですが、出産祝い事業が認知されてきているとともに、各窓口での丁寧な案内をいただいていることにより順調に手続きが行われているところです。申請から受給までに要する期間も当初想定では2ヶ月程度と見込んでおりましたが、それよりも短縮できており、約1ヶ月で口座への振込みが行われているところです。給付事業でもあり事業開始からの期間が短いこともあり、順調に事業が実施しているところです。支給対象要件等につきましては、他の事業の状況を踏まえながら引き続き検討してまいりたいと考えております。こちらにつきましては30年度も引き続き実施してまいりたいと考えております。自己評価でございますが、A評価をつけさせていただいております。

続きまして、資料5ページになります。イクメン成長物語事業です。

こちらの事業は、父親となる方を対象とした講座や、子どもさんがいる父親を対象とした講座、あるいは家事に積極的に取り組む男性や、子育てを楽しむ男性、また、地域で活躍するお父さんや育児参加に理解のある経営者や上司を育てること、あるいは孫世代の育児に係る男性などを養成するなど、成長するサイクルを入れた事業展開を図るといったものです。こちら実施状況及び成果でございますが、29年度は男性の家事、育児参加のまずきっかけをつくることを目的に、様々な切り口での興味のある講座に参加いただけるよう3つの事業を実施いたしました。

「親子DEチャレンジ」ということで、親子で参加するレクレーションスポーツということで、スポレクデーの中で実施をいたしました。45世帯115名の参加をいただきました。

写真を通して子どもの成長や今の様子、家族としての喜びを再確認していただくということで、「家族の写真を撮ろう実践講座」を実施いたしました。こちらにつきましては2家族6名参加ということで、当日やはりキャンセルがございました。

「パパの料理教室」でございますが、父親の家事参加へのきっかけづくりということで、楽しく調理をするということを目的に実施いたしました。平成29年度のメニューは、内閣府の男女共同参画局で取り組んでいる「おとう飯」というキャンペーンを実施しているんですが、そちらで提案している簡単にできるメニューというものを取り入れまして、料理に対するハードルを下げるということを目的に実施いたしました。また、実施時期が12月ということですので、クリスマスケーキの時期ということでもありますので、親子でイチゴケーキを作るということを実施し、楽しく調理を経験していただくことができました。課題及び反省点でございますが、29年度に実施したような講座形式の場合は、講師の対応が出来る人数というのが限られておりますので、参加世帯数を制限した形で募集を行っておりますが、申し込みはあるものの子どもの用事とか体調不良を理由にキャンセルとなることも多いことが反省点でした。受け入れ可能数の増を検討しながら実施形式等を検討してまいりたいと考えております。また、合わせて男性の育児参加に対する周囲、職場や家庭の中で参加するように働きかけを得られるような理解促進も合わせて図る必要があると考えております。対応策でございますが、引き続き事業内容の充実を図るとともに、一方で男性の家事や育児などへの参加の理解を深めるため、男女共同参画や地方創生働き方改革など、関連する事業との連携についても検討していきたいと考えております。自己評価でございますが、B評価をつけさせていただいております。こちらにつきましては、先日、有識者会議の中で違った形で、違った切り口での事業を平成30年度は実施するよというご意見がございましたので、今年度その取り組み事業につきましては、改めて検討してまいりたいと考えているところです。

資料6ページになります。出産・子育て情報アプリ事業でございます。

携帯電話やスマートフォンから保育所・幼稚園・病院等の施設情報、公園や施設の行事やイベント、または予防接種のお知らせ等、出産子育て世代が必要な政策や情報が一括で分かるアプリを作成するというものです。実施状況及び成果でございますが、まず、子育てサイトということで、特に子育て世代を対象とした情報を掲載するホームページを作成いたしました。子育てアプリでございますが、子育てサイトに掲載された内容をスマートフォンからも見やすく最適化した構成で情報を掲載するというので、アプリをダウンロードしていただけるようになっております。また、アプリをダウンロードすることで、イベントや付近の子育て関連施設の検索機能があたりとか、地図機能や子どもさんの予防接種等を登録できるようなスケジュール管理やお知らせ機能などがあるということで、現在ダウンロードしていただけるように、様々な形で周知をしているところです。平成30年3月22日現在の利用状況でございますが、ダウンロード数としましては261件でございます。アクセス数も順調に増えているところでございます。申し訳ありません。資料1ということで書いてございますが、こちらの資料の添付が漏れておりましたので、後ほど資料をご用意させていただきたいと思っております。アクセス数でございますが、3月22日現在では4万8,200件でございます。アクセスランキングでございますが、年間を通してよく見られていたのがカレンダーでございます。失礼しました。資料①のほうですが22ページのほうについております。一番うしろ資料22ページについております。スマートフォン版とPC版ということで、それぞれのアクセス件数が棒グラフで掲載されております。年間のアクセスとしてはカレンダーが一番多かったということで、年間を通して最もアクセス数が多かったのが日付別に保健事業や、各イベント等の予定を確認することが出来るカレンダー

	<p>機能でございました。こちらにつきましては、保育事業者が直接編集を可能としたことで、常にタイムリーな情報を掲載できており、引き続き市民の利便性の向上、利用者の向上増を目指していきたくと考えております。対応策ですが、市内保育所の関連事業所と連携を図り、更に積極的な情報を進めていただけるため、操作方法の習熟のための支援等を行っていきたくと考えております。また、子育てアプリ特有の機能がございますので、そうした機能をPRすることによって活用方法を提案しながらダウンロード数の増を目指していきたくと考えているところです。こちらにつきましては、ダウンロード数が261ということで、おおよそ子どもさんの数とダウンロード数は同じぐらいの数にはなっておりますが、今後もっとダウンロードしていただくことを期待しておりますので、自己評価につきましてはB評価をつけさせていただいております。</p> <p>資料7ページです。子連れに優しい店舗の推奨事業ということで、子どもさんを連れていても安心して食事や買物サービスが受けられる環境を整備する店舗に対して支援を行うということで、駐車場へのマタニティマークの設置の推進を図ろうとしたものでした。こちらにつきましては、1箇所につき5万円で10箇所分を予算化したしまして、広報紙や市ホームページ等で周知を図ってまいりましたが、平成29年度内における設置希望はございませんでした。マタニティマークを設置するためには、事業所の駐車場のスペースの問題もあることから、なかなか設置には至っておりませんでした。これから市民、事業所のニーズを把握し、必要に応じて事業内容の変更も検討していきたくと考えております。また、対応方法でございますが、マタニティマークの設置助成と合わせて事業者が着手しやすい環境整備事業のメニューを検討するなどして、市内事業者に子育て親子に優しい環境づくりに対する理解と協力を求めていきたくと考えております。そのために店舗側のメリット、デメリットを整理した企画説明書等を作成しながら説明に努めてまいりたいと考えております。こちらにつきましてはの自己評価は、D達成できなかったということで評価をつけさせていただいております。子ども福祉課所管につきましては以上でございます。</p>
高田政策推進係長	<p>続きまして、昨年度政策調整課で所管していました、トータルデザインによるシティセールスの推進事業についてご説明させていただきます。着座にて失礼いたします。資料8ページをご覧ください。</p> <p>トータルデザインによるシティセールスの推進事業でございますが、実施状況及び成果につきましては、前回報告しました内容の他、プロモーション動画を30秒にまとめましたCM映像を常陽銀行に設置されているデジタルサイネージにて放映いたしました。こちらは移住・促進という趣旨のもと、県外の31店舗にて3月13日から3月30日までの営業日、13日間において実施しております。また、本庁、小川総合支所、玉里総合支所のロビーにて、3月27日からプロモーション動画を終日放映しております。自己評価としてはB評価としましたが、今後の課題といたしては、これまでに行ってきた情報発信、PRについてどのくらいの効果があったのか検証を行い、より費用対効果の高い情報発信手段の調査検討が必要であると考えております。また、市内に向けたPRとしてイベント開催時にPR動画を流すなど、全庁的なプロモーション活動の意識づけを行ってまいりたいと思います。トータルデザインによるシティセールスの進捗事業の説明については以上です。</p>
長谷川商工観光課長	<p>続きまして、資料9ページから14ページまでを商工観光課の長谷川のほうから説明させていただきます。着座のまま失礼いたします。9ページをご覧ください。</p>

さい。

こちらが、観光協会補助事業としまして、リーフレット、パンフレットの作成となります。訪日する中国人向けに中国語版のパンフレットを作成し、市への観光の誘客を図る事業となっております。実施状況といたしまして、現在発行されております日本語版の小美玉市るるぶの内容を中国語に翻訳につきまして、内容を若干中国人向けに変更し、インバウンドに向け中国人の観光客の方に配布をいたしました。制作は5,000部作成いたしました。観光協会の理事の方々や茨城空港内、日中友好協会等で配布を行いました。課題といたしましては、今後はパンフレットの配布先や使用方法の検討が必要であります。現在、中国の春秋航空とのタイアップの可能性を検討しておりますが、更に幅広く発信できるような情報紙の使い方や配布方法が必要であると考えております。対応策といたしまして、茨城空港内のスカイアリーナ、空のえき「そ・ら・ら」内の物産館に現在設置しております。春秋航空のブースにも今後設置する予定となっております。また、茨城県の日中友好協会の招きで訪日されました富裕層の中国の方に対し配布を小美玉市の観光協会のほうで行っていただきました。今後は、県の国際観光課主催の旅行会社を対象とした旅行博等での活用も検討し、訪日する台湾、上海の方々にも配布する予定であります。その他といたしまして、観光情報紙なので2年か3年に1回ぐらい内容等の見直しが必要であると考えております。自己評価といたしましては、Bをつけさせていただきました。

続きまして、10ページのほうをご覧ください。

こちらの事業ですが、観光協会補助事業といたしまして、銀聯（ギンレン）決済端末導入補助の事業となります。こちらは中国人の方が決済しやすい環境を整えるために、市内の事業者の方に銀聯（ギンレン）決済が可能な端末の導入補助を行う事業となっております。実施状況といたしましては、銀聯（ギンレン）、こちらは日本でいうデビットカードになるんですけども、こちらを市内の宿泊業者1社が導入されました。ただ、現在、デビット決済の銀聯（ギンレン）よりも、スマホ決済が主流となっております。現在スカイアリーナのほうにスマホ決済のアリペイや、ウィーチャットを導入いたしました。今後の課題といたしましては、市が市内事業者には観光協会側で周知をしていただいたところですが、お店のほうにはそれほど中国人等の方が来ていないということがありまして、必要性に迫られていないので断られてしまうという状況がありました。対応策といたしまして、今後どのように市内や中国人等を誘客するかが鍵となっております。商工会や観光協会と連携しまして、市内店舗の周遊パンフレット等を作成して、今後誘客に繋げることも検討していきたいと考えております。自己評価といたしましては、C評価をつけさせていただきました。

続きまして、11ページをご覧ください。

こちらの事業の内容ですが、外国語表記の案内等の作成ということで、外国語表記の観光情報の発信や、各店舗や観光スポットの看板案内などに外国語を併記することで、外国人旅行者の方が訪れやすい環境を整える事業となっております。実施状況といたしましては、うしろの13ページにあるんですけども、こちらでおもてなしセミナーの開催ということで、実施した事業がありまして、そちらのセミナーで提案されました観光スポット等をベースに案内表記を変更いたしました。中国の方にも人気の小美玉温泉ことぶきの案内看板を外国語表記に変更いたしました。また、小美玉市観光協会のホームページこちらを3ヶ国語、日本語、英語、中国語の掲載情報で情報を図りました。市の特産品に関

しては、外国語表記のパンフレットを作成いたしました。今後の課題といたしましては、今後外国語表記を設置していくうえで、外国語表記の看板ということが視覚的にも分かりやすいようなデザインを統一することがよいと考えております。対応策といたしましては、市内の観光スポットに足を運んでもらうため、分かりやすい外国語表記の看板を配置するとともに、パンフレットとも連動しながら、案内板のあるところを地図上に表記するなど、地域全体で道案内が出来るように考えていきたいと思っております。自己評価といたしましては、Bをつけさせていただきました。

続きまして、12ページをご覧ください。

こちら観光案内人員の設置ということで、地域再生拠点施設空のえき「そ・ら・ら」に中国語を話し、観光案内等の魅力発信をする「小美玉コンシェルジュ」1名を配置いたしました。実施の状況ですが、平成28年度は巡回・案内のみでしたが、今年度はおもてなしセミナーにも参加するなど積極的に活動していただきました。また、市内の事業所等への通訳サービスの提供なども行いながら、中国等から来訪される方々に対し通訳として、更には市の観光に関する事業全般において大きく貢献していただきました。主な活動としましては、以下の3つのヨーグルトサミットの開始に向けたPR活動。玉里地区の観光振興に関する内容です。SNS「インスタ」を活用した住民参画のアカウントの作成等を行っていただきました。自己評価といたしましては、こちらはA評価をつけさせていただきました。

続きまして、13ページをご覧ください。

事業内容といたしまして、おもてなしセミナーの開催ということで、増加しております外国人観光客に対するおもてなし意識の醸成に向けて、市内在住の対象者におもてなしセミナーを行いました。実施状況といたしましては、JT Bと共催で午前中は市内のアクティビティスポットでの農業体験、午後はセミナー及びグループワークを行いました。参加者は日本人の方が20名、中国人の方が10名とともに満員で大変好評でありました。セミナーでは口減少の観点からインバウンドの必要性を説きながら、概ね理解を得たところであります。グループワークでは、日本人3名から4名と、中国人1、2名のグループに分かれまして、中国人の考え方、文化の違いを学んだうえで、中国人にとって魅力的なスポットとは何かを討論していただきまして、観光コースを作成することでインバウンドへの意識の向上に繋げております。課題といたしましては、2回目ということで、セミナーとしての課題は概ね解消されていますが、今後セミナーやグループワークで学んでもらったことを、より実践的に活かしていただける企画が必要であると思っております。対応策といたしましては、今後の事業の中で今回参加していただいたメンバーの方に、観光ガイドとして中国人の方を案内してもらう形のセミナー等が良いと考えております。自己評価としては、Bをつけさせていただきました。

14ページをご覧ください。

小美玉市PR動画等編集委託事業になります。こちらは①②となります。

①の事業が、観光PR促進動画制作を行いました。こちらが、小美玉市の認知度向上を図り、交流人口増加を目的とした小美玉市プロモーション映像の制作を行ったものです。

②インバウンド推進観光PR動画制作を行いました。

こちらは小美玉市と石岡市、茨城大学と広域連携を図りまして、インバウンドに向けた観光PR動画の制作を、茨城大学の学生の方に制作を依頼したところでございます。実施状況といたしましては、観光PR動画のほうですが、市

	<p>内の映像会社（リンクムービースタジオ）さんをお願いいたしまして、今年度は小美玉市の珍しい神社仏閣等（耳守神社・山中薬師本道・手接神社）を題材に、ストーリー仕立ての映像を作成していただきました。10月には撮影を終了して、現在完成しております。You Tubeのほうに配信しております。</p> <p>②小美玉市・石岡市が茨城大学にPR動画の作成を依頼したものであります。茨城大学で映像を専攻している学生の方に動画の作成を依頼しまして、各自治体の撮影が10月末から11月中旬までに終了いたしまして、インバウンドで中国人向けに翻訳したものを作成したものです。課題といたしましては、今後こういった商品や活動、人に焦点を当てていくかを明確にしておく必要があるということと、動画に一連の関連性を付けることによりまして、PR効果を増大していく必要があると思っております。対応策といたしましては、市プロモーションの一環として、継続して進めていくことが必要であろうと思っております。自己評価といたしましては、Bをつけさせていただきました。</p>
箕輪秘書政策課長補佐	<p>資料ナンバー11番、秘書政策課所管の市長と市民のランチミーティング事業につきましてご説明いたします。着座にて失礼いたします。</p> <p>資料15ページをご覧ください。</p> <p>昨年10月から今年の2月にかけて計4回実施いたしました。各回それぞれ地産地消の日に合わせて給食、または市内各地域の食材を使用した参加者の皆さんの手作りの昼食を囲んで、和やかに懇談が行われました。懇談の中では、対象となる子どもさんを持つ保護者の皆さんから関心が高かった学校統廃合事業や、参加者の皆さんそれぞれの地域の情報交換を含めた交流を行いました。昼食を介し、市長と身近に交流しやすい場となっております。課題としましては、これまでは団体の皆さんと多く実施してまいりましたが、今後若年層との交流も多く図れるように市民の幅広い層への周知を行って行きたいと思っております。市長と市民のランチミーティング事業につきましては以上です。</p>
菅澤広報広聴係長	<p>わたくしのほうから、地域におけるシビックプライドの醸成事業をご説明申し上げます。着座にて失礼いたします。</p> <p>資料16ページをご覧ください。</p> <p>地域におけるシビックプライドの醸成事業でございますが、自らの故郷の素晴らしさや美しさを再認識することにより、故郷を誇りに思う心を育むため、小美玉市を代表する風景のひとつであります「ダイヤモンド筑波」を題材に、フォトコンテストを実施いたしました。応募作品数は合計で47作品ございまして、作品テーマの内訳としましては、ダイヤモンド筑波の写真を撮っていただいた作品フォトコンテスト部門と、それから既にある写真を加工して応募していただくコラージュ部門の2部門でございます。審査の結果優秀作品につきましては、市民の日記念式典において表彰いたしまして、応募作品につきましては、小川文化センターアピオスに展示いたしました。課題としまして、ダイヤモンド筑波の撮影は天候に左右されることが大きくございまして、昨年は天候に恵まれず7月下旬は全く観ることができなかつたために、テーマについても検討が必要であると考えております。今後はシビックプライドを育むための題材といたしまして、ダイヤモンド筑波に変わるテーマについても検討していきたいと思っております。自己評価については、C評価をつけさせていただきました。</p> <p>続きまして、17ページをご覧ください。</p> <p>小美玉市情報発信ボランティア育成事業についてご説明させていただきます。</p>

	<p>す。地域コミュニティやまちづくり組織等から参加者を募りまして、地域の魅力や活動の様子を発信する情報紙を作成するための研修を行いました。情報紙を作成していく上で、参加者それぞれが抱えている編集の課題や疑問点などを聞き取りました。地域の魅力を発信していただくためには、作成者に地域や地域の魅力にもっと目を向けていただく必要があります。対応策としまして、現在地域コミュニティや行政区で活躍されている方々に加えて、人材発掘のために新たな担い手の候補者など、より多くの情報発信者となる若手メンバーが参加しやすい環境整備や、スマートフォンなどを使った写真撮影研修やSNS活用講座等も検討してまいりたいと思います。自己評価については、C評価をつけさせていただいております。秘書政策課所管の内容は以上でございます。</p>
佐々木企画調整課長	<p>企画調整課の佐々木です。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>企画調整課所管の事業No.14 からNo.16 につきましてご説明させていただきます。着座にて失礼いたします。</p> <p>資料18 ページをご覧くださいと思います。</p> <p>ダイヤモンドシティ・プロジェクト推進事業委託ということで、平成28年度より継続して行っている事業でございます。29年度で2年目となる事業でございます。29年度につきましては、4つの分野で事業のほう展開させていただきました。</p> <p>まず、1つ目が、小美玉マーケティングスクールでございます。</p> <p>こちらは10月から11月の2ヶ月で5回開催いたしまして、117名の参加をいただいております。こちらにつきましては、昨年度参加いただいた方を対象に少しステップアップを行いまして、流通シーンでの商品の魅力を伝える秘訣を実践的に学ぶといたしまして、市の特産品でありますヨーグルトをテーマに、市場調査結果をもとにした首都圏市場の実態把握からみるストーリーの作り方や、プロモーションを含めた商品マーケティング戦略の方法等を学びました。また、ダイヤモンドシティとは何かをテーマにいたしまして、行政、住民双方の立場から今一度見つめ直すシティマーケティングについても勉強を行いました。</p> <p>2つ目といたしまして、小美玉PR隊・発見取材ツアーでございます。</p> <p>こちらは11月に開催いたしまして、首都圏在住の女性5名に参加をいただきまして、こちらのサポート役といたしまして市内の男性2名、この7名が2班に分かれて小美玉市内の名称、食事するお店約67点の検証を行いまして、この11月に約20箇所の店、場所を回りまして、小美玉のいいところをまとめあげていただきました。このまとめた内容につきまして、「恋するマップ」というデジタルアプリがございまして、こちらにこの情報をアップいたしまして、現在展開しているところでございます。</p> <p>そして3つ目といたしまして、小美玉体験交流ツアーでございます。</p> <p>こちらは10月に開催いたしまして、首都圏在住の女性38名に参加をいただきました。29年度につきましては、銀座にございます茨城マルシェを基本といたしまして、この茨城マルシェのお店の中で小美玉市の食材等を活用いたしまして、食の分野で小美玉のPRのほうをさせていただきます。当日のイベントにつきましては、島田市長にもご参加をいただきまして、参加者と有意義な懇談等を行わせていただきまして、広くPRできたというふうに考えております。</p> <p>そして4つ目の首都圏での小美玉広報イベントでございます。失礼いたしました。今のご説明させていただいたのは、首都圏での小美玉広報イベントでござ</p>

ざいます。

3番目の小美玉体験交流ツアーにつきましては、バスツアーで小美玉の魅力ある場所、お店についてツアーを編成いたしまして、公募いたしました首都圏在住の38名の方に小美玉のPRのほうをさせていただいたところがございます。29年度の内容につきましては、主に体験型ということで、酪農業の現場を見学などをいたしまして、小美玉の魅力のある部分について広くPR出来たというふうに考えております。29年度の課題といたしましては、まず、マーケティングスクールにおきましては、内容をブラッシュアップした反面、開催の日程が過密化してしまいまして、昨年度参加いただいた参加者の参加数が非常に少なくなってしまうまいりました。こちらは今後展開していくうえで反省する点でございます。なるべく参加される方が魅力を感じる内容を編成していきたいというふうに考えております。また、小美玉体験交流ツアーの部分でございますが、29年度につきましては、体験型を取り入れたところ非常に天候が当日台風に近い悪天候に見舞われまして、その中で農業体験を強行するような形になってしまいました。利用者の方の参加後のアンケートにつきましては、この辺の対応、配慮について足りなかったのではないかとというご意見もいただいているところがございます。今後実施していくうえではそういう天候の部分ですとか、違う部分での展開も考えながら進めていきたいというふうに考えております。自己評価につきましては、C評価と判断をさせていただきました。

続きまして、19ページをご覧くださいと思います。

こちらは、小美玉市ふるさと同窓会応援事業といたしまして、こちらの事業も2年目でございます。29年度につきましては、事業の内容の改正を行っております。まず、対象年齢の拡充でございますが、従来25歳と30歳のみの対象としておりましたが、29年度より、25歳から30歳の隔年、30歳以降は5年ごとの対象といたしまして、35歳40歳45歳65歳までの対象としております。また、対象となる店舗の要件緩和ということで、市内店舗のみとしていたところでございますが、参加者40名以上の場合に限り、近隣市町村の店舗でも実施可能としております。また、1団体の上限額を変更いたしまして、10万円から15万円最大75名までを対象としたところがございます。この要件緩和に伴いまして29年度の実績でございますが、同窓会実施数につきましては6件、参加者が299名と前年度と比較して大幅に増加しているところがございます。課題といたしましては、まだまだ制度の周知がいきわたっていないということで、今後この事業展開をしていくうえで、様々な媒体の情報発信を考えておりますが、ホームページ並びに広報紙での情報発信を主に今後も進めてまいりたいというふうに考えております。自己評価につきましては、A評価と判断させていただきました。

最後に20ページでございます。ヨーグルトサミットの開催ということで、平成29年度につきましては、実施計画策定事業の委託ということで、事業展開させていただいております。実施状況でございますが、6月に実施設計業務の委託を行いまして、ヨーグルトサミットの企画、提案、並びにそれに伴います企画、調査と分析、事業スキームの検証ということで、3月に実施計画のほう完成しております。委員の皆様のお手元にこちらの実施計画書(案)というものを御配りさせていただきました。こちらについて簡単にご説明のほうをさせていただきます。

まず、ページを開けていただきまして、これまでも議会の議員の皆様にはご説明のほうをさせていただいておりますが、開催の日時でございます。今年度10月20日21日の2日間で実施する予定でございます。実施会場につきましては、

四季の里、四季文化館みの〜れ並びに芝生広場、四季健康館の広いエリアで開催をする予定でございます。来場者につきましては、基本的にはシャトルバスでの会場への乗り入れというふうに考えております。イベントの開催中は石岡駅、羽鳥駅、市内に数箇所設ける予定の駐車場から会場までの間をシャトルバスの運行で運搬する予定でございます。

2ページをご覧いただきたいと思います。

今、現在このヨーグルトサミットに参加の表明いただいている自治体、事業者でございますが、自治体につきましては、12自治体でございます。北海道から関西方面まで含めて12自治体となっております。ブース出展の意思表明をいただいている事業者が、35事業者でございます。イベントのひとつでございますヨーグルト総選挙の参加につきましては、全国70事業者100種類のヨーグルトを準備する予定でございます。

次のページをご覧いただきたいと思います。

このヨーグルトサミットにつきましては、イベントサミットとビジネスサミットこの2つの構成で行う予定でございます。まず、ビジネスサミットでございますが、4ページをご覧いただきたいと思います。このサミットの様々なイベント内容を企画するうえで、庁内に事前準備チームというのを設置いたしまして、2月から3月の約2ヶ月をかけて様々な内容のほうを検討してまいりました。まず、1つ目が企画運営の部分で、ヨーグルト研究交流チームの考えた内容がこのビジネスサミットのところでございます。このビジネスサミットにつきましては、基本、基調講演、事例発表、クラスタースクール、ローカルファーマーズ会議、工場長会議、この分野で展開していく予定でございます。事例発表につきましては、北海道の土幌高校、そして栃木県的那須拓陽高校、この2つの高校に事例発表をお願いする予定でございます。こちらの公募につきましては、自分の学校でヨーグルトの製造、販売までを手がけている高校でございまして、先進事例として実施していただく予定です。クラスタースクールでございますが、こちらにつきましては、ヨーグルト生産者や研究者等によります短い時間約50分程度のセミナーを約10コマ程度実施する予定でございます。現在、この講演者につきましては随時交渉中でございます。主な部分といたしましては、岩泉乳業の社長に台風被害からの復活のエピソード等をお話しいただく予定でございます。

次のページをご覧いただきたいと思います。

こちら同様のビジネスサミットでございますが、こちらにつきましては、参加いただいた自治体、事業者等の交流を行いますレセプション・パーティの検討の内容でございます。

6ページこちらが、イベントサミットでございます。このイベントサミットにつきましては先ほどもご説明させていただきましたが、ヨーグルト総選挙、ヨーグルト物産展。

次のページをご覧いただきまして、来場者が広くお楽しみいただけるようなイベントの内容を実施する予定でございます。イベントサミットの中で8ページでございますが、体験イベントがございます。こちらは、準備委員会チームの四季の里野外企画チームが検討いたしまして、お子様連れ等が飽きずに楽しめるような様々なしなかけを考えているところでございます。

次の9ページでございますが、こちら同様に四季の里野外企画チームが考えているものでございまして、野外ステージでのイベントでございます。ヨーグルト早飲み・大食いグランプリ、そしてIBARAKI FESなど様々なしなかけを実施していく予定でございます。

10 ページでございます。

こちらはヨーグルトを題材にしたミュージカルで、小美玉市にございます住民劇団 Myu のオリジナルミュージカルを実施する予定です。約 40 分の作品で 2 日間で 4 回上演する予定でございます。入場は全て無料でございます。広く小美玉の文化について来場者の方に発信できればと考えております。

11 ページでございます。こちらはイベントサミットの中で、ヨーグルトと健康チームが企画したものでございますが、ヨーグルトと美容と健康を結びつけたしなかけを考えているところでございます。健康館にございますお風呂を利用いたしまして、ヨーグルトの足湯であったり、美肌パックであったり、女性が興味を引くような内容を考えております。

12 ページでございますが、魅力体験プログラムといたしまして、周遊型観光チームが企画をいたしました。このヨーグルトサミットにつきましては、ただ一過性のイベントに終わるのではなく、イベント後も周遊と継続したシビックプライドの醸成を繋げていければというふうに考えておまして、それに繋げられる周遊型の観光を提案しております。

13 ページでございますが、こちらにつきましては、次世代酪農プロジェクトチームが当日リアルな酪農現場の体験等を来場者の方にしていただくために、現在様々なしなかけを考えているところでございます。

15 ページをご覧いただきたいと思ます。

このヨーグルトサミットの様々な検討する中で、広報 PR 活動といたしまして、広報チームを編成いたしまして、これまでに様々な情報のほうを発信させていただいております。また、NHK、新聞等でも様々な分野で取り上げているところでございまして、今後も同様に情報の発信を行いまして、サミット当日までに広く皆様に情報が届くように進めてまいりたいというふうに考えております。

17 ページでございますが、開催までのスケジュールの案をお示しさせていただいております。実行委員会の発足が 4 月 16 日に第 1 回目を開催いたしまして、6 月と開催日直前までに 3 回の実行委員会を実施する予定でございます。8 月に大々的な PR イベントを実施する予定でございます。10 月には直前のプレスリリース、全体的な広報の発信を考えているところでございます。簡単ではございますが、計画書の内容のほうを説明させていただきました。説明のほうは以上です。よろしくお願いたします。

真家都市整備課長

最後に都市建設部都市整備課所管事業についてご説明させていただきます。着座して失礼いたします。

資料 21 ページをお願いいたします。

家賃・住宅取得補助事業（移住促進住宅取得補助金）でございます。

予算額 450 万円に対しまして、執行額は 310 万 1,000 円でございます。事業内容につきましては目的といたしまして、本市へ移住される方を対象に、住宅取得費及び住宅改修工事に対し補助金を交付する事業でございます。平成 29 年度からの実施の事業でございます。補助金の額でございますが、新築または新築住宅の購入をされた方は限度額 30 万円、中古住宅の購入をされた方は限度額 20 万円、また、中古住宅の購入補助を受けた住宅の改修工事を受けた方は限度額 10 万円まで助成いたしました。

次に、実施状況及び成果でございますが、今年度の実績といたしまして申請件数 12 件でございます。内訳といたしましては、新築住宅、または新築建売住宅の購入が 7 件、中古住宅の購入及び中古住宅の改修が 5 件でございます。

	<p>なお、12件32の方がこの事業を活用しまして本市に移住いたしました。内訳につきましては、石岡市から6世帯など近隣市町村からの転入が多く見られました。また、移住者32人の平均年齢は約30歳で、申請者12人の平均年齢につきましては41.6歳でございました。</p> <p>次に、課題及び反省点でございますが、市のホームページや、広報紙及び県ホームページ内の専用サイトでございます「茨城移住ナビ」などに情報発信をしているところでございますが、なにぶん市外にお住まいの方が対象のため、なかなか周知がいきわたらないのではないかとと思われることなどがございます。</p> <p>続きまして、対応策といたしましては、今年度が2年目の事業となりますこの助成制度をより活用していただくために、市のホームページなどのPR方法を強化していくことと合わせまして、公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会などにも積極的に情報発信を図っていきたくて考えておるところでございます。また、平成30年度事業につきましては、住宅取得基準日などの見直しを行いまして、要綱を一部改正したところでございます。</p> <p>その他といたしましては、事業の対象となる移住者向けの住宅ローンの支援策といたしまして、市内3つの金融機関と連携協力に関する協定を結び、特別金利を適用し、補助申請者が割引優遇できるように連携協力して取り組んでいるところでございます。最後に自己評価でございますが、当初計画では新築を10件程度、中古住宅を5件程度と見込んでいたところでございましたが、実績につきましては新築が7件、中古住宅が5件の申請でありましたことから概ね達成したとし、C評価とさせていただきます。説明は以上でございます。よろしく願いいたします。</p>
岩本委員長	以上で執行部の説明が終わりました。この際、休憩10分間ほど50分まで休憩といたします。
	<b>休憩 14:40～14:50</b>
岩本委員長	<p>では、休憩前に引き続き会議を開きます。市長と福祉部のほうが途中退席ということで、時間が来たらどうぞ退席のほうお願いします。</p> <p>それでは、協議事項1、ダイヤモンドシティ・プロジェクト平成29年度事業報告について説明が終わりました。委員の皆様からご意見、ご質問等ありましたら挙手をもってお願いいたします。</p>
木村委員	4ページ出産祝い事業ですが、不支給の方が16件滞納が理由にありましたよとおっしゃっていましたが、滞納なさっている方に2万円支給してそれで滞納額を相殺するとかそういうことではないの。滞納がある人は一切受け付けないということなんですかね。
酒井子ども福祉課長補佐	まず、申請はお預かりします。申請をお預かりしたうえでその方に滞納があるかどうかの調査をさせていただいております。90日以内の間に審査を何回か行わせていただくので、お預かりして滞納があるときにはその方に滞納があるので、直接ではないのですが、下の要件のいくつか滞納だったり住所だったりとかいくつかの中で事務を進めることができないので、確認してくださいということでご案内通知を差し上げながら滞納のある方については滞納を整理し

	<p>ていただくような方向でご案内をしています。やはり滞納の額によっては出産祝い金をもらうよりも整理仕切れないという方につきましては、不支給ということで通知を差し上げているので、滞納整理できない方については該当しないということで16名の方がいらっしゃるということです。</p>
木村委員	<p>仕組みがそういうふうだからしかたないことなんだと思いますけども、そういう方こそできれば支給を受けたい方というのが実際のところだと思いますので、改善点みたいなのを若いうちみなさん苦勞して当然だと思うので、何か良い方法があれば探していただけたらなと要望なんですけども。しょうがないですねいいです。</p>
岩本委員長	<p>ほかございませんか。</p>
戸田委員	<p>全体的なことなんですけど、この評価というところABCとか何とかこれを今平均化してみた。計算してみた。そしたらこれはCの十分に達成したとはいえないというのと概ね達成したとの間なんだわね計算すると。だからこれはまだ成果がでていないということじゃないかと思うんだよね。もっともっと頑張らないといけないのかなというような気がしますが、皆さんよろしくお願ひします。</p>
岩本委員長	<p>要望でいいですか。</p>
戸田委員	<p>いいです。</p>
岩本委員長	<p>ほかございませんか。</p>
野村委員	<p>2ページなんですけれど、参考として商工会青年部主催事業ということで、おみコンがありました。青年部で一生懸命やってくれた幡谷君も良く知っているんですけども成立した組が2組。実はこれが決まれば茨城空港からのペアの航空券これを商工会で発行しなければならぬんだけど、青年部のほうから連絡がないんですけどもこっちにあったわけ。</p>
酒井子ども福祉課長補佐	<p>申し訳ありません。これは実績ということで伺ったやつをそのままなので、詳しい内容までは確認はできてはいないところなのですが。申し訳ありません。</p>
野村委員	<p>こっちに書いてあるから何でこれ連絡ないのかなと思って。</p>
岩本委員長	<p>出たくてしょうがない。</p>
野村委員	<p>出たくてしょうがなかったわけだから。はい分かりましたよくうちのほうでも調査してみます。</p>
岩本委員長	<p>いいですか。</p>
野村委員長	<p>ありがとう。</p>

岩本委員長	ちょっといいですか。ちなみにこの2ページの空コンでは30組もできたの。
酒井子ども福祉課長補佐	こちら空コンでございしますが、実は、水戸コンということで県内でかなり大きく合コン事業をやっているところの協力をいただいて実施しているところでもありますので、参加される方がわりと街コンとして楽しむために来られている方も多いということなので、カップリングがイコール成婚というところの必ずしも趣旨にしていけないので、できあがりやすいというのが1点と、それから実はカップリングになりましたということで、2人で受付に行くと実は記念品が出るというのがありますので、実はカップルになりましたということでじゃ行くかというので受付に来られる方の数も含んでということですので、申し出があったのは全てカウントしますので30組という数にはなりますが、その内訳としてはそういうところ踏まえての数だということでご了承いただきたいと思えます。
岩本委員長	ほかありませんか。 わたしのほうから何点かあるんですけど、まず、18ページ、ダイヤモンドシティ・プロジェクト推進事業委託のほうで、小美玉マーケティングスクールの実施状況及び成果の(3)の小美玉体験交流ツアー、これは首都圏在住女性が38名参加者したということなんだけど、これはどういうふうに公募したの。
佐々木企画調整課長	こちらの公募につきましては、首都圏に配布しているフリーペーパーで、シティリビングというフリーペーパーがございまして。約60万部ほど発行しているフリーペーパーなんですけど、そちらに公募を掲載いたしまして、そのシティリビング事務局から経由して委託業者のほうに参加リストがきまして、委託業者、要は電通なんですけど、電通のほうで応募してきた方々とコンタクトを取りまして、より小美玉のことを気に入っている、行ってみたいというのを調査して38名に絞っての人数となっております。実際はもっとこの3倍近い数字の応募があるということでございます。
岩本委員長	ありがとうございます。実際参加した人たちの感想ってどうだったんだろう。
佐々木企画調整課長	去年、28年度もそうなんですけど、参加者の印象については非常に好評化でございまして。ただ、先ほど説明の中にも入れさせていただいたのですが、29年度につきましては体験型を取り入れて、実は小川にございまして赤根農園の芋ほり体験というのを実施させていただきました。今、ふるさと納税の中で干しいもが大変好評でその辺も踏まえまして、芋ほり体験をさせていただいたのですが、非常に悪天候でございまして、その対応がこちらのほうとしましておろそかになってしまいましたので、その辺の苦情が結構多く書かれておりました。それ以外の部分につきましては概ね好評でございまして、事務局サイドといたしましては概ね良好の印象を受けているところでございます。
岩本委員長	分かりました。 この20代から40代の首都圏在住女性がこれだけ来るというのであれば、来る趣旨とか目的は違うと思うんだけど、これ多彩な合コンと何とかうまくできないのかな。これ来た方たちと合コンという形になっちゃうと来る趣旨が違うのであれかもしれないけど、うまく事業を組み合わせるといった方たちと小

美玉在住の男性が交流持てればいいのかと思いますけど、前向きに考えてみてください。

それと、前回わたしのほうから報告時の実施状況のほうで、課題点及び反省点、対応策等も入れていただきたいということで全部入れていただきました。その中で何点か目に付いたところがあるので質問というか言わせていただきます。

まず、7ページ。子連れに優しい店舗の推奨事業ということで、駐車場にマタニティマークがまだ駐車場に実施が0なんですけど、前も言ったようにできれば市のほうの駐車場、公共施設にどこかやっていただければ、まずそういうところからやっていただければと思います。

それと、課題及び反省点はそこなんですけど、ただ対応策のほうで真剣に考えている証拠だと思うんです。素晴らしい対応策が書いてあるように思うんですよね。だからやはり事業していて事業というのは実際実施するまではなかなかやってみないと分からない部分があると思うんです。ダイヤモンドシティ・プロジェクトにしてもまだ始まって間もないのでそれほど成果が出ない部分、成果が出ない理由もあつたりします。ただ、そんな中でもこういった反省点、対応策が記入できるのであればわたしは素晴らしいと思うんです。ただ残念なのが12ページのほうでは、これは中国語を話せる人をコンシェルジュとして配置しているんでしょうけど、確かに成果は出ているんだと思うんですけど、ここで課題及び反省点もなしということ。対応策等もなしということ。もう少し事業に踏み込んでこうすればもっと利用できるのではないとか。今、1名なので例えば2名にしたらどうなるのとか、そういったことも含めて成果が出ている事業だからこそこういった課題や反省点を考えていただいて、対応策を練っていただければ更に素晴らしい事業になると思います。全体的なんですけど、先ほど言ったようにこのダイヤモンドシティ・プロジェクトが始まってそうは経っていないので、実際事業を実施していくうえで事業を真剣に見ていけば、当然課題や反省点が見えてくるんだと思います。もっとこれ真剣に考えて対応策のほうを考えていただく。その中身は例えば事業のあるいは規模を縮小するであつたりとか、あるいは事業を見直すことであつたり、こういった勇氣も必要だと思います。それと、最初に言ったように同じ事業でも課が違えば全く違うことでやっているかもしれないけど、ここを組み合わせるともっと成果がでるんじゃないかなということも冒頭のわたしの挨拶で言わせてもらったように、所管とかそういった垣根を越えてすればもっともって成果が出ることもあると思います。そういったことも縦割りではなくて、この中で皆さんでこここの事業を組み合わせたらどうだろうであつたりとか、あるいはこの事業は事業そのものを見直す必要があるなという勇氣であつたりとか、そういったことも含めて小美玉市の時代にあつたダイヤモンドシティ・プロジェクトを推進していただければと思います。これは要望です。よろしく願いいたします。

ほか委員の皆さんからご意見、ご質問等なければ。

各委員	「なし」と呼ぶ声あり
岩本委員長	協議事項2、政策提言についてご説明をお願いします。
中村秘書政策課長	それでは、協議事項2、政策提言についてご説明させていただきたいと思います。着座にて説明させていただきます。

委員の皆様方におかれましては、本日配布させていただいております提言1、という表題から始まる資料及び救急受診ガイドブックというリーフレット、この2点をご覧になっていただきながら説明をお聞きいただければと思います。

平成28年3月に当委員会より4つの政策提言をいただいております。その提言4つに対しまして現在までの取り組み状況、進捗状況についてご説明をさせていただきます。

まず、提言の1つ目、「羽鳥駅周辺整事業の推進（陸の交流エリア）」の進捗状況について説明いたします。

本日は、「羽鳥駅東口駅前市有地の利活用に係るサウンディング型市場調査」についてご報告をさせていただきます。

平成30年2月21日、22日の2日間に渡り、金融業1事業者、建設業1事業者、サービス業2事業者の計4事業者とサウンディング型市場調査を実施いたしました。対話の内容といたしましては、

- ・当該地の活用アイデア
- ・最も重要と考える要素
- ・施設整備形態、運営方法、費用負担、土地・建物等の事業方式
- ・障壁になると思われる事項、市に求める支援や条件、以上について意見交換を行いました。当該地の活用アイデアにつきましては、公共施設をベースとした景観に考慮した低階層による官民複合施設の整備や、ユーティリティスペースと緑地帯を一体とした場所の整備、また、子育て支援施設や健康増進施設と図書館の一体的整備などの意見がありました。

「最も重要と考える要素」につきましては、図書館等の生涯学習施設を集約化することや、民間事業者との資金面での協議、また、市民や駅利用者にとって利便性の高い施設を整備することが必要であるという意見がありました。

「施設整備形態、運営方法、費用負担、土地・建物等の事業方式」につきましては、民間事業者が施設を建設するBOT、BLT方式や、市が施設を建設し、大学、企業、NPOなどに運営を委託する方法。また、土地については民間事業者へ無償貸与するというような意見が出されました。

「障壁になると思われる事項、市に求める支援や条件」につきましては、周辺人口や羽鳥駅利用者の数を鑑みますと、商業施設は難しいと思われることや、市に対して土地の無償貸与や建設一時金、維持管理費などの補助の必要があること、また、基本計画を策定する必要があることなどの意見をいただいたところでございます。これらを受けまして今後の進め方でございますが、このサウンディング型市場調査の結果を踏まえまして、民間事業者の参入の可能性や、施設整備形態、運営形態など具体的な事業計画をとりまとめるとともに、市として施設に入れるべき公共機能の絞込み等を進めてまいります。提言1については、以上でございます。

提言2、「茨城空港拠点地区の各種施策の推進（空の交流エリア）」の進捗状況についてご説明いたします。

こちらの進捗状況につきましては、「企業誘致に関する政策調整会議」こちらの会議を報告させていただきたいと思っております。

第6回政策調整会議の協議内容でございますが、優遇制度として実施する固定資産税の免除期間の拡大及び雇用奨励金に関する条例・要綱の内容について協議を行いました。まず、固定資産税の免除期間の拡大につきましては、前回の特別委員会でもご報告させていただいておりますとおり、現在施行されております固定資産税の免除期間を3年から5年へ拡大するものであり、更に名称を「小美玉市産業活動活性化及び雇用機会の創出に関する条例」とし、新規条

例として4月から運用を開始しております。

次に、雇用奨励金につきましては、名称を「小美玉市市民雇用奨励金交付規則」として、市内在住の新規雇用者1人につき10万円を補助し、3年を限度として交付する内容となっております。こちらにつきましても、4月から運用を開始しております。今後この政策調整会議につきましては、「企業誘致」として政策調整会議をご報告させていただきました固定資産税の免除期間の拡大および雇用奨励金を4月から実施することで一区切りとし、今後は空港線沿線の土地利用について検討を進めていくためメンバーを再考し、引き続き政策調整会議として進めてまいりたいと考えております。提言2については以上でございます。

提言3、「玉里地区の観光振興（水の交流エリア）」の進捗状況についてご説明いたします。

始めに玉里地区の観光振興に関する政策調整会議につきまして、ご報告させていただきます。平成29年度は政策調整課・生涯学習課・商工観光課・小美玉観光協会で組織した部会におきまして、調査研究を進め「玉里地区の実現可能性の高い観光企画」としてまとめた、玉里地区の体験型観光企画のサンプルについて政策調整会議へ提案を行ったところでございます。この体験型観光プログラムにつきましては、持続可能な観光の実現にあたり、「稼ぐ観光」を目指して企画者が販売価格を設定し、必要な初期投資も企画者やサービス提供者が行うことを前提としております。また、インターネット上で予約販売できる仕組みなど、小美玉観光協会を中心に制度設計を進めてまいります。平成30年度につきましては、ヨーグルトサミットと連携し、試験的な体験型観光を進めてまいります。

次に、第2回政策調整会議につきましては、第1回議会定例会の全員協議会でもご報告させていただきましたが、世界湖沼会議に係る小美玉市事業イベント、現在こちら小美玉市環境フェスティバルと称して準備を進めているところなんですが、これについて協議を行いました。内容といたしましては、開催日及び会場について、また、本田記念財団から300万円の助成をいただけることが内定していること等に関係者で確認するとともに、開催に向けた組織体制の整備を行ったところでございます。この内容を受けまして、新年度になりました4月6日と18日に新たな機構改革のもと、秘書政策課・環境課・商工観光課・都市整備課・生涯学習課の5課にて、「小美玉市観光フェスティバル」事務局会議こちらを実施いたしまして、フェスティバルの内容を実行員会の構成などについて協議をいたしました。今後の進め方でございますが、玉里地区の体験型観光につきましては、ヨーグルトサミットに向けた試験的な体験型観光を引き続き進めてまいります。世界湖沼会議プレイイベントとして位置付けます「小美玉環境フェスティバル」につきましては、今後実行委員会を5月初旬に開催し、7月21日の開催に向けた準備を加速させてまいりたいと考えております。提言3については以上でございます。

提言4につきましては、この閉じられた資料ではなくて、先ほど申し上げましたとおり、いざというときにすぐに役立つといったこのリーフレットのほうを一部ご覧になりながらお願いいたします。

提言4、自治体連携による人口増加対策の推進についてご説明いたします。

まず、自治体連携の調査研究につきましては、人口減少等が地域にもたらす様々な課題に県央地域首長懇話会の構成9市町村、水戸市・笠間市・ひたちなか市・那珂市・小美玉市・茨城町・大洗町・城里町・東海村、こちらが一丸となって対応するために、茨城県央地域定住自立圏の連携事業を昨年度から進め

	<p>しているところでございます。別冊の救急受診ガイドブックがその連携事業の成果でございます。このうちこのような形で医療分野におきましては、救急医療の現状及び育成受診の啓発のためのガイドブックこちらにつきましては、39万4,000部を作成いたしまして、県域全世帯に昨年12月に配布したところでございます。その他の各政策分野におきましても、事業の進捗などについてお示しできる段階になりましたらご報告させていただきますが、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>次に、災害協定の提携推進につきましては、前回の特別委員会でご報告しましたとおり、これまでに48の災害時応援協定を結んでおります。前回の特別委員会から今回までの期間では協定の締結はございませんでしたが、来る5月14日に筑波乳業株式会社と災害時における物資の供給協力に関する協定締結を予定しているところでございます。今後も各所管において災害協定の締結について調査研究を重ね協定の締結推進に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>最後に、高齢者施設等の受け入れ推進につきましては、先進事例や県及び周辺市町村の動向を踏まえ、引き続き検討してまいりたいと思ひます。以上で政策提言の取り組み進捗状況、そういったものについての説明を終わります。</p>
岩本委員長	ありがとうございます。政策提言について、執行部から説明がありました。委員の皆様でご意見、ご質問等ある方は挙手をもってお願いします。
野村委員	水のエリア。市長さん、あそこ隣に買ってある土地は整備はしないの。
島田市長	もったいないから。
野村委員	脇にある。そうじゃないと狭いんじゃないですかあれだけでは。
島田市長	今、残土を入れている状況で、四季文化館の前の芝の丘かな、あんなもので簡単にやっただらいいかなという話はしていますが、まだ、実施の段階にはなっていない。
野村委員	せっかく買ってあるやつで空いているものだからね。
島田市長	できるだけしたいです。
岩本委員長	いいですか。ほか。
戸田委員	今、発表していただきましたけど、いろいろな委員会や協議会やそういったところで意見をいただいてそれをまとめているんだろうと思うんだよね。しかし、わたしが思うのには議会なんかで一般質問や委員会で出た議員の意見とか、そういうのが一杯あると思うんだよね。そういうのは全然ないねこれ。やっぱりもっと議員が議会で発言したというのは大事な約束したわけですよ。議会であなた方が答弁したり何かしています。やっぱりこれはこういうふうにしたらいかがですかではなく十分考えます何ていう答弁が多いですよ。しかしこれには何もない。精査して議会で出た意見というのはもっと大事にすべきではないかなと思ひますね。ちょっと議会を軽視している感じがしないではない。どうぞよろしくお願いします。

	両方でやってんだっぺよ。
岩本委員長	これは現段階では政策調整会議だから執行部だけで話していることですよ。それから今度例えば議会だったりとか、一般市民の声を聞くことになるんですよ。
中村秘書政策課長	まずもって、戸田議員によります貴重なご意見ありがとうございました。そういったことを踏まえて現在も報告の仕方についても提言ひとつひとつ精査を加えて進捗状況についてはご説明できるように努めてまいりたいと思っております。それから委員長から今ご質問いただきました、現在は政課調整会議の域は出ていないだろうということで、まさに今まだ政策調整会議での議論でございますので、ある程度の方向性が出てきましたら住民の参加の必要性であったり、他団体だったり関係所機関所との協議が必要だと判断されれば、そういったところに随時協力を求めて市全体でこういった政策提言をひとつひとつ実現に導いてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
岩本委員長	この政策提言は、地方創生特別委員会の中で議会の声と思っていただいていると思うんです。ですから、しっかりとよろしく願いします。 ほか委員さんから何かございますか。
木村委員	1枚目の市場調査のまとめというところで、近隣の景観を考慮した低階層の民間複合施設ですとか、商業施設は難しいなどの文言がいろいろ謳われているのでその件なんですけど、その道のプロの方が沢山お集まりいただいたの結果だと思うので、周り住宅があるからその辺の配慮もなさったとは思いますが、本市において最高の大トロ中の大トロの場所だと思うので、これを低階層で商業施設は難しいといったら駅の反対側にあるような建物と全く同じようになってっちゃうような気がしますので、皆さんのいろんな発想、そんなにみんなあの辺の住宅の人も反対することはないと思うんだよね。デザイン性に優れたもの建てるとか、例えば金曜、土曜の夕方なんか壁に映写機で映画を流すとかいろんなアイデアがあると思うんですけど、どこにでもあるようなおんなじような繰り返しのをやるよりは、これでまた沢山使っちゃってみんなどうなのかなと、この文言を見る限り凄く心配になるものですから、その辺もいろいろ発展的に小美玉っていいな、楽しいなって思われるようなアイデアをどんどん出してもらってやってもらわないと素晴らしい面々が集まっていると思うのに、この調査結果普通の物ができたらどうなるの駅前と心配になるもんですから、その辺のところも何とかひとつよろしく願いします。要望です。
小松都市建設部長	只今の木村委員さんのご意見についてなんですが、今、まさにご指摘いただいたところは、今回サウンディングの調査の中で、参加をいただいた4事業者としてのおくまでもその4民間事業者のひとつの意見ということで、決してこれはそういう意見があったということのご報告に過ぎないので、これではなければならないということではないので、ただいちょうそういう意見もあった中で今後まだどのようにしようかということで、まさにこれから市民の皆様、議会の皆様にもいろいろアイデアとかご意見いただくという場面がこれから多々出てきようかと思いますが、その前段での調査を開始させていただいた事

	業者さんとしては、どういうふうにごくを捉えているのかなという参考意見として伺ったということなので、これに限定したことで今後市として進めるというそういうものとは違うということで、ご了解いただきたいと思います。よろしくお願いします。
岩本委員長	いいですか。 確かにこのまとめを見ると寂しいような気がするのですが、ただこれはあくまでも東口のサウンディング型市場調査のまとめでしょ。
小松都市建設部長	はい。
岩本委員長	まだ、東口をどうするという事ではないと思うので、木村委員の言うように、夢と希望のあるような何かそういったのを頑張ってもらいたいと思います。
野村委員	ちなみに何回建てくらいになるの。
小松都市建設部長	まさに、どうなるかというのはこれからの議論になってまいりますけども、いずれにしてもこれで全て進めるということではないので、ただ、今回参加していただいた4事業者の民間から見たあの地域への見方というのは、我々が思っていたよりはかなりシビアな見方をしているなというのはあるということにありますので、ただ、これに決してこだわらずに我々もできるだけいい方策というか、夢のあるような考え方をこれからも持ってまいります。かなり我々も相当民間事業者の積極的な参画姿勢というか、民間事業者が中心になっていろいろあれこれという夢も出てくるのかなと期待しておったのですが、その夢というところは非常に現時点ではシビアなのが現実だということの表れということで捉えていただきたいと思います。今後一生懸命頑張りたいと思います。
岩本委員長	ありがとうございました。
谷仲委員	このサウンディング型市場調査の今後の進め方というところがまず1点ございますので、これとわたし常々お話をさせていただいている公共施設の市の全体像をどうするかというのをしっかり持っていかないと、今後、施設を作っていくにあたって、その公共施設等の総合管理計画と付随した形の取り組み方というのが、今後、主になってくるのかなと思います。どういう施設を作るといふときに、例えば小美玉の中で同じような施設がいくつも点在しているという状況が今現在ありますが、例えばこれを作るのであればそちらのほうに集約してまとめましょうという捉え方ですとか、ただそうなってくると、今度は各地域地域の声というのが入ってきますので、そういうのを全体を含めて公共施設の捉え方と今度こういう施設、複合施設というときに特異性といいますか、これが必要だからこういうものを作りますという明確なビジョン、それをまずしっかり作るべきではないかなとこれを1点考えます。あとは建てるにあたってどうやって財源を引っ張ってくるかというところで、民間活力というものを導入が図れればそれに超したことはないのですが、ただなかなか民間は、こちらの回答にもあるように、シビアな見方をしているというところがあります。そういうところをまずしっかり土台で捉えた上で、こういうものを作っていくとい

	う議論をわたくしたち議会もしていかないと本当に小学生が何々を作ってくださいこういうのが欲しいという議論ではないと思いますので、現実を捉えた中でしっかりベストなものを考えていけるまずは環境というか、そういう中でも公共施設の全体像をどうするんだという、これをひとつ頭の中に入れおく必要があるかなというふうにわたくしは捉えております。そういう所を踏まえて要望でよろしくをお願いします。
岩本委員長	分かりました。よろしくをお願いします。ほか、ご意見ご質問等ございませんか。 今、各委員からいろいろな意見が出ましたので、その辺を踏まえて次回お願いいたします。
野村委員	低階層というけど、あそこは住宅地で2階ぐらいまでくらいしか建てられないのか。
小松都市建設部長	決して階層で何階までという規定はございません。今回の羽鳥駅周辺の整備の中で、そこは用途を近隣商業地域ということで指定変えをしてあるので、業績率、建蔽率等についても一定の要件を充たせばある程度の階層までは、あとは建設の仕方というか敷地を広く取るか狭い細長い物を建てるかによって、やり方はいろいろあるかなと思います。
野村委員	建蔽率ね。はい分かりました。
岩本委員長	いいですか。
野村委員	はいいいですよ。 低階層ってこっちで心配して。1階建てじゃないかと。
岩本委員長	そのほかなければ。 では、2番項、政策提言についてはこれで閉めたいと思います。  その他に入ります。 その他のほうで、商工観光課のほうでお願いします。
長谷川商工観光課長	それでは、皆さんのお手元のほうに資料のほうお配りさせていただいておりますけれども、今回2月頃の新聞記事のほうに掲載がありました、県の30年度の新規事業、宿泊観光促進事業の内容について、ここでご説明のほうをさせていただきたいと思います。 先週、県のほうの観光物産課のほうにお伺いしまして、事業の内容のほうをお聞きしてきましたので、ご報告をさせていただきたいと思います。 今回の事業のほうは宿泊観光促進事業ということで、平成30年度の新規事業となっております。県のほうの考え方としましては、茨城県ならではの魅力を活かした高級感ある宿泊施設の創出を支援し、本県の観光のイメージを向上させる。そして、外国人観光客、特に富裕層など新たな客層の獲得に意欲的な宿泊施設に対し、魅力向上に向けた幅広い視点からの専門家によるコンサルティングにより、施設の改修などの具体的取り組みを提案する。3番目としまして、

	<p>増加する観光宿泊事業を県内に取り込み、観光消費額の増加などを図るために、新たに県のフラッグシップとなり、観光イメージの向上に資するホテル等の誘致に取り組む。こちらの3つの考え方に基づいて、今回新規事業ということで、県のほうで事業を企画したそうです。その事業の中にですが、専門家による幅広い視点からのコンサルティングによる宿泊施設の大規模改修や、食事の見直しなど具体的な取り組みを提案するという観光地域作り事業というものと、お手元にある資料のものなんですけれども、宿泊施設立地促進事業、こちらの2事業が主な柱となっております。お手元の資料のほうですが、こちらが増加が見込まれる観光宿泊需要を県内に取り込むために、フラッグシップとなるようなホテル等の立地に向け、需要動向や地域活性化策についての調査及び立地を促進する補助制度になります。そして広報的な誘致活動を推進するものとなっております。本年ホテルの需要動向や地域活性化の検討のための調査及び誘致活動の推進ということで、半年間を県のほうとしては目安と見ているようなんですが、半年間はそちらの調査のほうに費やすというか、なってしまうかなということでありました。あとは、ホテル等の立地に対する支援といたしまして、県のフラッグシップとなり観光イメージの向上に資するホテル等の立地に対して補助を行うというものとなります。補助の内容といたしましては、補助額（都市・建物・設備）の5%、上限が5億円となっております。ただし、県の観光イメージの向上に特に資すると認められる場合に関しましては、投資額の10%、上限10億円までの増額も可能となっております。こちらの対象の認定でございますが、補助額の決定にあたって客室等、平均客室面積・価格等を総合的に勘案し、外部有識者によりまして、審査会により認定されることになるそうでございます。以上で報告を終わります。</p>
岩本委員長	<p>ありがとうございます。わたしが新聞で見てどういう内容なのか調べてもらえないかなということをお願いしたところでございます。これどうなんだろうこれから小美玉市の空港周辺辺りでホテルだったりとか、そういったものを誘致するであつたりとかに、そういうときにこれ使えるのかな。</p>
長谷川商工観光課長	<p>県のほうのお話なんですけれども、県のほうとしましては富裕層の方や高級ホテルという感じで、どちらかというディズニーランド近辺の高級ホテルとか、そういうのをイメージしているようなんですけれども。茨城空港近近辺という形になりますと空港がLCCということで、どうしてもローコストキャリアというところが前面的に出ているところもありまして、ちょっとというお話はあつたのですけど。</p>
岩本委員長	<p>分かりました。もし、例えばあの辺に高級富裕層のホテルを建てたところだと思うんだけど、もし、誘致等でなんか使えるのであれば考えてみてください。わたしも内容良く分からなかったの。もしかして小美玉でもこれ使えればと思って調べてもらいましたありがとうございます。この件につきまして、委員さんのほうから何かありましたら意見いただいております。いいですか。すみませんわたしが先走りました。その他、ほかございましたら。</p>
幡谷副委員長	<p>すみません。ちょっとだけお時間いただきます。以前の委員会でもお話させていただきました。統廃合による学校の廃校利用についてです。この廃校利用は教育関係のほうで協議のほうをされているかと思いますが、是非、まちづく</p>

	<p>りの拠点になる可能性が十分にあるということで、是非、この地方創生まちづくり特別委員会の中でも、今、市のほうでどのような協議をされているか、あとはもちろん委員さんの中でも各地域の市民から心配や、要望や、相談やというのをこれからどんどん多く聞かれることと思います。そういったことをこの委員会を通じて協議、話しのほうでできたらなというふうに思っております。ですので、是非、次回のこの委員会の中では、座長を含めた廃校利用の協議会のほうの会議の方にも是非出席していただいて、進行の状況であったり、進捗状況などを聞きながら、委員の皆さんの忌憚のないお話のほうを聞かせていただければなというふうに考えておりますので、是非どうぞよろしくお願いいたします。以上です。</p>
谷仲委員	<p>その学校の跡地活用の話しなんですけど、最近例えば31年度小川南小学校開校に伴う小学校に対しては、もうちらほらそのあとどうするのというお話は、結構歩いて市民の皆様から伺う機会があります。具体的なところはこれからですよというところの説明をさせていただいています。基本方針はできておりますので、その方針に基づいて具体的なのはこれからというところで、わたくしはお話はさせていただいているのですが、ちらほらそういうお話が結構多くなってきているかなというのは、これは実際のところになっております。補足で失礼しました。以上です。</p>
岩本委員長	<p>今、谷仲委員から言われたように、統廃合でその学校が廃校になった場合に、そのあとにどうやって利用していくかとなると、まず、地域によっていろいろ要望もあると思います。こういうところに使ってもらいたいんだったりとか、あとは地域によってこういうふうに使えば利用価値があるなであったりとか。こういった事は地域も違うし規模が違ったりとか、いろいろ使い方はあると思います。ただ、地方創生を考えていく中で、非常に重要な問題だと思っておりますので、委員会の中でも今後取り上げていきたいと思っておりますし、今度の研修の中でもそういった跡地利用等の研修に行きますので、そういったことを含めて委員の皆様と執行部と考えていきたいなと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>この件について、ほかご意見ございませんか。</p>
佐々木企画調整課長	<p>だいぶ時間が経過している中ではございますが、前段で説明をさせていただいた中に、映像の作成があったと思うのですが、その映像を本日委員の皆様にご覧いただきたいと思ひまして準備はさせていただいているところなんですけど、時間の関係もございまして流すか流さないかは委員長にお任せしたいと思うのですが。</p>
岩本委員長	<p>時間かかるの。1時間も2時間もかかるわけじゃないでしょ。</p>
佐々木企画調整課長	<p>12、3分だそうです。</p>
岩本委員長	<p>いいですか皆さん。</p>
佐々木企画調整課長	<p>今、準備進めたいと思ひます。</p>

	【映像上映中】
岩本委員長	これはどこで流しているやつなの。
中本企画調整課シティ プロモーション係長	市内の本庁、小川支所、玉里支所、更にはそ・ら・らとみの〜れで常時流しております。
岩本委員長	素晴らしいビデオでしたありがとうございます。その他ほかにございますか。今回のこの特別委員会で、議会報告会のほうで報告すべき事項というのは正副委員長に任せてもらっていいですか。
各委員	「はい」という声あり
岩本委員長	この内容の中で抜粋させていただいていいですか。では、研修の件で事務局のほうから。
富田書記	<p>それでは、別紙で配らせていただきました管外行政視察研修についてという資料をご覧ください。</p> <p>先日通知をさせていただきましたが、正副委員長と協議をさせていただきました。まず、日程についてですが、5月8日から9日で研修を実施いたします。1日目は「廃校を活用した都市住民等との交流事業」ということで、静岡県島田市を訪問いたします。</p> <p>それから、2日目が航空自衛隊浜松基地内にあります、航空自衛隊 浜松広報官 エアパークを視察します。うしろに視察先の事業の詳細を載せさせていただきました。後日集合時間とか行程については郵送で送らせていただきますので、よろしくお願ひします。説明は以上になります。</p>
岩本委員長	<p>以上が5月8日、9日の産業建設常任委員会と地方創生まちづくり特別委員会の合同管外視察になっております。日程調整のほうをよろしくお願ひいたします。</p> <p>ほか大丈夫ですか。</p> <p>なければ協議事項は終了いたします。では、副委員長にマイクを渡します。</p>
幡谷副委員長	長時間に渡りご苦勞様でした。以上で地方創生まちづくり特別委員会の方を閉会いたします。ご苦勞様でした。
	<b>閉会 15:50</b>